

栗橋国際カントリー倶楽部

令和4年度 理事会 議事録

1. 開催日時 令和4年9月4日(日) pm1:15～pm2:45

2. 出席者

理事長 塚田 進 キャプテン 石井 宏

理事 日下部 武一 木戸 外司 坂根 英一

以上6名出席 事務局 森田 長南 安田 廻谷

3. 塚田理事長挨拶の後、理事会に入った。

4. 初めに報告が2点あった。

(1) 関東倶楽部対抗競技の結果について

木戸理事より、令和4年度の予選会が、5月16日に龍ヶ崎カントリー倶楽部にて行われ、20倶楽部中17位と報告があった。また、予選通過の倶楽部とのストローク差が4名合計で28打あり、来年の大会に向けて、その対応の必要性を強調した。

(2) 来場者数の動向について

事務局より、2018年から2022年度のクラブ来場者数の報告があった。2019年台風19号の冠水被害、新型コロナウイルス感染に伴う緊急事態宣言の施行等で来場者が低迷するが、ゴルフは屋外でのスポーツということもあり、現状は回復の兆しが見えているとの説明があった。

5. 報告の後、議案審議に入った。

(1) 名誉理事の規定について

これまで明確な規定がなかった名誉理事になるための要件を、協議の結果、理事の職を10年(5期)以上務めた

者とすることに決まった。

(2) カート道路の補修について

塚田理事長より、コース内のカート道路が所々傷んでいるので補修してもらいたいとの意見に、
毎年冬期に補修しているので、引き続き冬期に傷みが大きい箇所から補修をしていくことを確認した。

(3) 通常営業時のピンポジションについて

石井キャプテンより、通常営業時にピンポジションが難しすぎる時があるので、なるべく易くしてほしいとの意見があり、
通常営業時はなるべく易い位置にカップを切ることにした。

(4) 食事について

石井キャプテンより、食事に対する不満の声を多く聞くので、例えば自販機で買い求め、乗用カートに持ち込める軽
食をと意見があり、新たな視点に立った食事対応を事務局で検討することにした。

6. 以上をもって石井キャプテン挨拶の後、理事会を終了した。

以上